

環境に配慮したライフスタイルをめざそう

本時の目標

- ・「省エネ」を意識した家庭での家電製品の取り扱いに関心を持ち、よりよい生活のしかたを考える。
- ・省エネの必要性とその方法を理解する。

本時の評価規準

知識・技能	省エネの必要性と上手な電気の使い方を理解している。
思考・判断・表現	省エネを意識した家庭での家電製品の取り扱いに関心を持ち、よりよい生活のしかたを考え工夫している。

	具体的な学習活動・内容	使用する教材・資料／指導上の留意点
導入	<p>①電気使用量が変化している現状に気付き、理由を考える。 「一世帯当たりの電気使用量をみてみよう。50年の間にどう変化しているだろうか。このように変化した理由を考えよう」 ・50年前と比べて使用量が2倍に増えている。ライフスタイルが変化したからではないか。 ・電気製品の種類が増えたり大型化したりして、使用量が増えたのではないか。 ●学習課題 「環境に配慮したライフスタイルをめざそう」</p>	<p>①1世帯当たりの1か月の平均電気使用量の推移を示したグラフからその変化の理由を考えさせる。</p>
展開	<p>②家の生活の中で、できそうな「省エネ」方法を見つける。 「次の家の中で、どのような「省エネ」ができるか考えよう」 （家の中に次のような場面を設定する） ・エアコン ・温水洗浄便座 ・テレビ ・蛍光灯 ・炊飯器 ・冷蔵庫</p> <p>③どれくらい「省エネ」になるのか、資料を使って調べる。 「どのくらい省エネになるのか資料から見つけて書き込もう」 ・エアコンのフィルターを2週間に一度掃除すると、年間約860円の節約になる。 ・LEDの照明に変えると、年間約2430円の節約になる。 ・電気ポットを使っていないときにプラグを抜いておくと、年間約2900円の節約になる。</p> <p>④「省エネ」が地球環境を守ることに繋がることが発見する。 「省エネ効果は節約だけだろうか」 ・エアコンやテレビを掃除することは、環境にも健康にもよい。 ・エネルギー資源をむだに使わず、有効に活用することができる。 ・エネルギーを安定供給することができる。 ・地球温暖化を防止できる。 ・SDGsの取り組みに関連している。</p>	<p>②まず、どのような方法が考えられるか小集団で話し合い、ワークシートに記入させる。待機電力をなくす、むだな電力を使わない、製品に負担をかけない、電気を効果的に活用する、などの視点で発見させる。</p> <p>③お金に換算すると経済的なことだけに注視してしまうが、次の省エネ効果について考えを拡げるために、ここでは理解しやすいお金で計算させる。</p> <p>④ [SDG7：エネルギー] [SDG11：住み続けられるまち] ・地球上の資源を共有して利用していることに気付くように、視点を広げさせる。</p>
まとめ	<p>⑤これからの生活に生かせることを考える。 「これからの生活に生かせそうなことはどんなことだろう」 ・ちょっとしたことで省エネになる。電気や家電製品の使い方を見直して、工夫したい。 ・他にどんな方法があるのか調べてみたい。 ・炊飯器の扱いは家の人にも教えたい。 ・健康を害するような省エネをするのではなく使い方を上手に工夫したい。</p>	<p>⑤学んだことを振り返り、今後の生活に生かせることをまとめる。熱心になり過ぎて過度な省エネに走り過ぎないことにもふれる。</p>

◆関連する内容

・家庭分野「C 消費生活・環境」

◆参考情報&データ入手先

- ・「わたしたちの暮らしとエネルギー」
- ・資源エネルギー庁 家庭向け省エネ関連情報



(出所)
資料A：電気事業連合会調べ
※数値は9電力会社平均値

学習課題

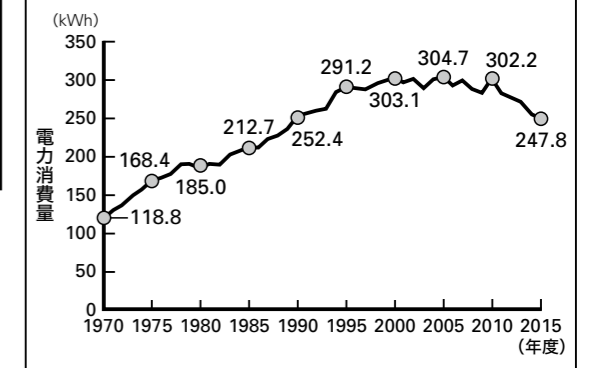
環境に配慮したライフスタイルをめざそう

年 組 番 名前

1. 資料Aを見て、1世帯当たりの電気使用量は50年間にどのように変化しているだろうか。変化した理由を考えよう。



◎資料A 1世帯1か月あたりの電力消費量の推移



2. 下のイラストを見て考えよう。

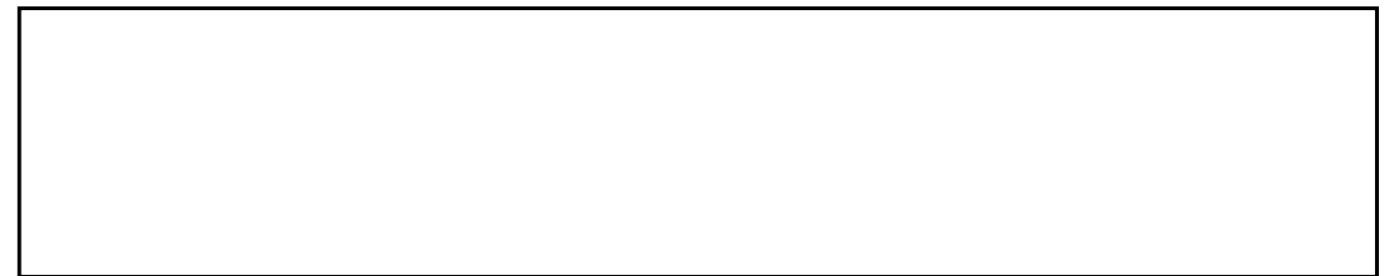
- ①A～Fではどんな省エネ方法ができそうか、考えて書こう。
- ②その方法により、年間どれくらい省エネできるだろう。資料を見て確認しよう。



(資料)
経済産業省 資源エネルギー庁
家庭向け省エネ関連情報「無理のない省エネ節約」

	①できそうな省エネ方法	省エネ量 (円)
A		
B		
C		
D		
E		
F		
その他		

3. 省エネの効果は節約だけだろうか。考えてみよう。



4. これからの生活の中で実践していきたいことはどんなことだろう。

